

令和元年度 学校法人緑蔭会事業実況報告書

本校においては、近年数年にわたり少子化に伴う入学者の定員割れが続いており、令和元年度についても定員には届かず34人の入学者数であった。

本校の運営は、学生納付金をその財源としており、安定的な学校運営ためには定員の確保が極めて重要な課題である。これまでも様々な媒体や手法を活用して、学校や臨床検査技師についての広報活動に努めてきたところであり、令和元年度については、特に新理事長が就任したことに伴い、上川管内やオホーツク管内の大部分の高校を訪問し、各校長に本校の教育内容等について具体的に説明し広報に努めたところである。

また、入学者については体験入学への参加などから、最終的に本校への受験・入学に結びつく場合が多いことから、今後も医療系を目指す高校生等に体験入学への参加を引き続き呼びかける必要がある。

一方で、病気や学業不振など、理由は様々であるが、結果的に令和元年度については6人の退学者を出しており、その防止が今後の大きな課題となっている。

国においては、令和2年度から高等教育の無償化を実施するため、受給する学生側について、世帯の収入や学力等の条件を付す一方、進学する学校側についても財政状況や学校評価、学校法人役員などの情報公開に加え、学生の充足状況や単年度収支など、学校の財政状況に係わり一定の条件を示したところであり、例えば定員の充足率については3年間連続して80%を下回らないことなどとされたところである。この結果、大学においては90%が教育費無償化の対象となった一方で、専門学校については約60%に止まったところであり、専門学校の学生確保などが厳しさを増しているものと想定される場所である。

学生募集においては最も重要な要素の一つとなる国家試験の合格率が、前年度は64%と低迷したが、学生並び教員の努力の結果今年度の国家試験では96.3%と1年で全国水準に回復することができたところであり、引き続きこの水準の維持に努める必要がある。

学校施設については、全体的に老朽化が進行しており、特に北海道等から早急な改善を求められていた集合煙突のアスベスト対策について、一部国の補助制度の適用を受け、封じ込め工事を実施することができた。

また、年度末に発生した新型コロナウイルスの伝染拡大に伴い、本校の学校行事にも影響を及ぼしたところであり、国や北海道の要請に基づき、卒業式については卒業生、保護者、教員だけに参加者を限定し最小限の規模により開催するとともに、3月の第6回体験入学についても中止したところである。

以下、令和元年度の具体的な事業について報告する。

1 教育環境の改善

- ・ アスベスト封じ込め煙突改修工事の実施
- ・ 医用工学実習室並びに教職員用パソコンの更新
- ・ 実習機器(免疫血液学用遠心機)の購入

2 職業体験や体験入学の積極的な受け入れ

(1) 体験入学の実施状況

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	計
開催月日	5月18日	8月3日	8月18日	9月28日	11月9日	3月29日	
生徒数	13	18	15	11	7		64
保護者数	9	7	5	5	2		28
計	22	25	20	16	9		92

第6回体験入学は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い中止した。

平成30年度の参加者数は、生徒74人、保護者29人の合計103人であった。

(2) 職業体験の実施状況

開催月日	7月1日	8月26日	10月3日	10月8日	10月10日	10月30日	計
学校名	中央中	永山中	光陽中	忠和中	神居東中	啓北中	6校
参加者数	1	19	8	5	4	20	57

平成30年度の職業体験は、4校60人であった。

3 広報活動

広報については、全面的に改定した学校パンフレットを積極的に活用し、進学相談会や高校訪問の際などに配付している。

① 進学雑誌・一般広告

進学ガイド・専修学校概要(北海道私立専修学校各種学校連合会)

トライアルファ(栄美通信)

スタディサプリ進学事典(リクルート)

進路徹底研究(JSコーポレーション)

北海道経済(7月号・10月号)

メディアあさひかわ(6月号)

グラフ旭川(8月号)

地域情報紙ライナー(11月15日発行)

② 進学相談会

民間事業者主催の秋田市、釧路市、北見市、網走市及び旭川市における進学相談会に加え、滝川西高校や旭川龍谷高校等単独校における開催の相談会など、延べ約20

会場の相談会に参加

③ 進学情報サイト

本校ホームページの開設に加え、ベネッセまなビジョンの職業検索サイトに本校のバナー広告を掲載

④ 高校訪問等

菅沼新理事長の就任に伴い、上川管内全高校とオホーツク管内のほとんどの高校を訪問し各校長に挨拶回りを兼ね本校の紹介をするとともに、入学実績のある市内、市外の高校の進路担当を訪問し、学生の近況や本校の特色等について説明・周知した。

4 教員の学会・研修会等への主な参加状況

学会等の名称	出張期間	開催場所	出席者
日本臨床検査自動化学会	4 / 27	札幌市	技師科長
日本臨床検査教育協議会	5 / 26 ~ 28	東京都	校長、学生主任
診療情報管理士教育事業に係る説明会	6 / 18 ~ 20	東京都	畠山
日本検査血液学会学術集会	7 / 5 ~ 7 / 8	天理市	仲山
日本臨床検査学教育学会学術大会	8 / 20 ~ 23	熊本市	教務主任、学生主任、竹村
日臨技北日本支部血液・染色体・遺伝子検査部門合同研修会	9 / 28 ~ 29	札幌市	仲山
日本臨床検査自動化学会	10 / 3 ~ 5	横浜市	武田
北海道医学検査学会	10 / 25 ~ 27	釧路市	技師科長、教務主任
日本輸血・細胞治療学会 秋季シンポジウム	11 / 14 ~ 16	東京都	畠山
日本臨床検査学教育協議会	12 / 15 ~ 17	東京都	教務主任、学生主任
日本臨床微生物学会学術大会	1 / 30 ~ 2 / 2	金沢市	技師科長

5 国家試験合格者の推移

○新卒者

	北海道医学技術専門学校			全 国		
	受験者数	合格者数	合格率%	受験者数	合格者数	合格率%
第66回	27	26	96.3	3,940	3,273	83.1
第65回	25	16	64.0	4,002	3,462	86.5
第64回	30	28	93.3	3,948	3,572	90.5
第63回	32	31	96.9	3,870	3,481	89.9
第62回	40	35	87.5	3,727	3,256	87.4
第61回	44	41	93.2	3,581	3,360	93.8